CareCraft ポートフォリオ 使い方

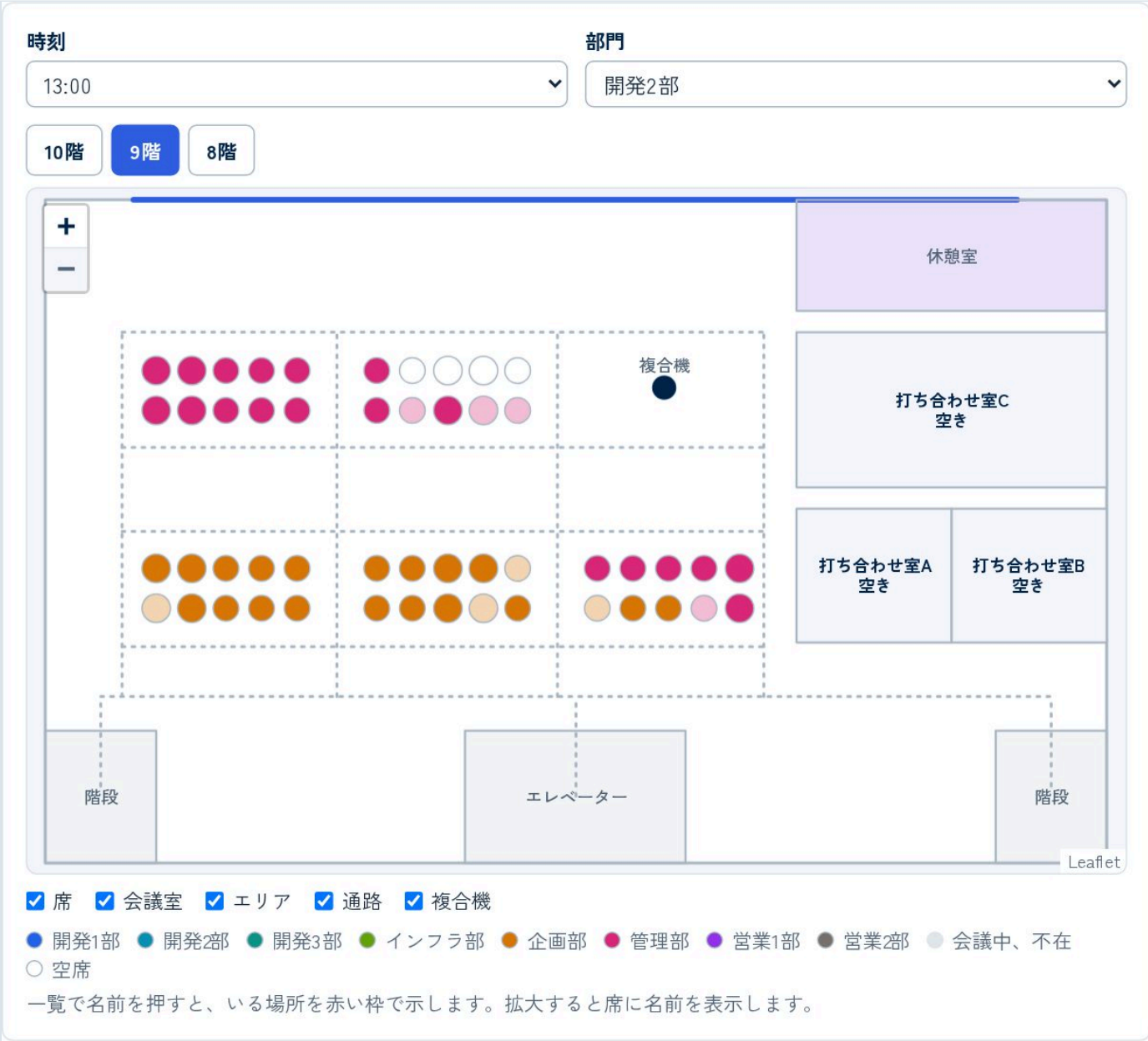
屋内GISによる席と会議室の最適化デモ

https://www.carecraft.cc/portfolio/office/

上の5つのカードがタブで、在席の確認から席の予約、会議室の割り当て、分析までが流れます。操作の内容はこのブラウザの中にだけ保存します。「初期状態に戻す」を押すと、保存したデータを削除して最初の状態に戻ります。

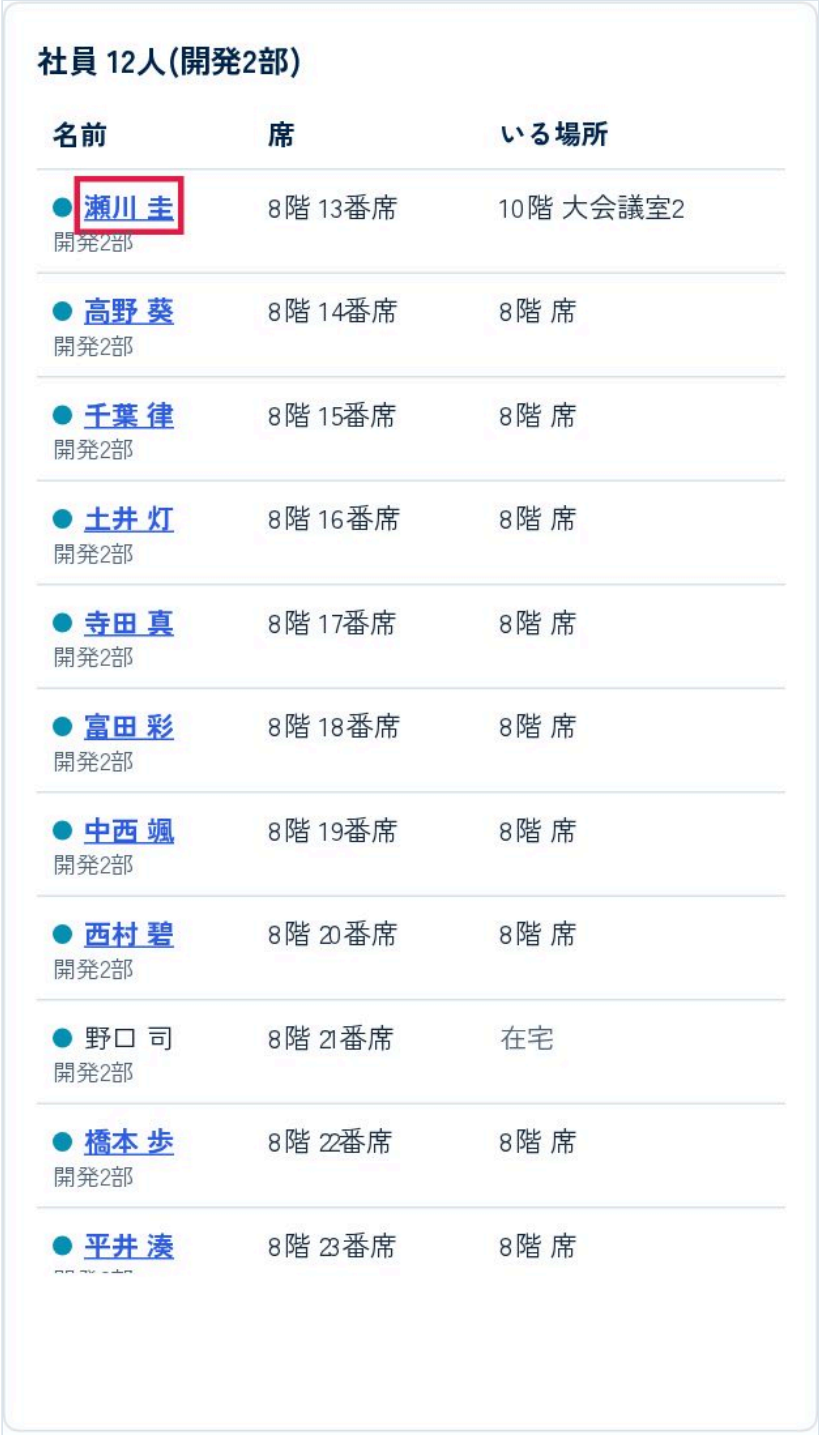
会社、社員、間取りはすべて架空のサンプルです。画面の内容は初期値で操作した例で、赤枠は操作する場所を示します。移動時間は通路のデータと、歩く速さや階段、エレベーターの仮定から求めた目安です。

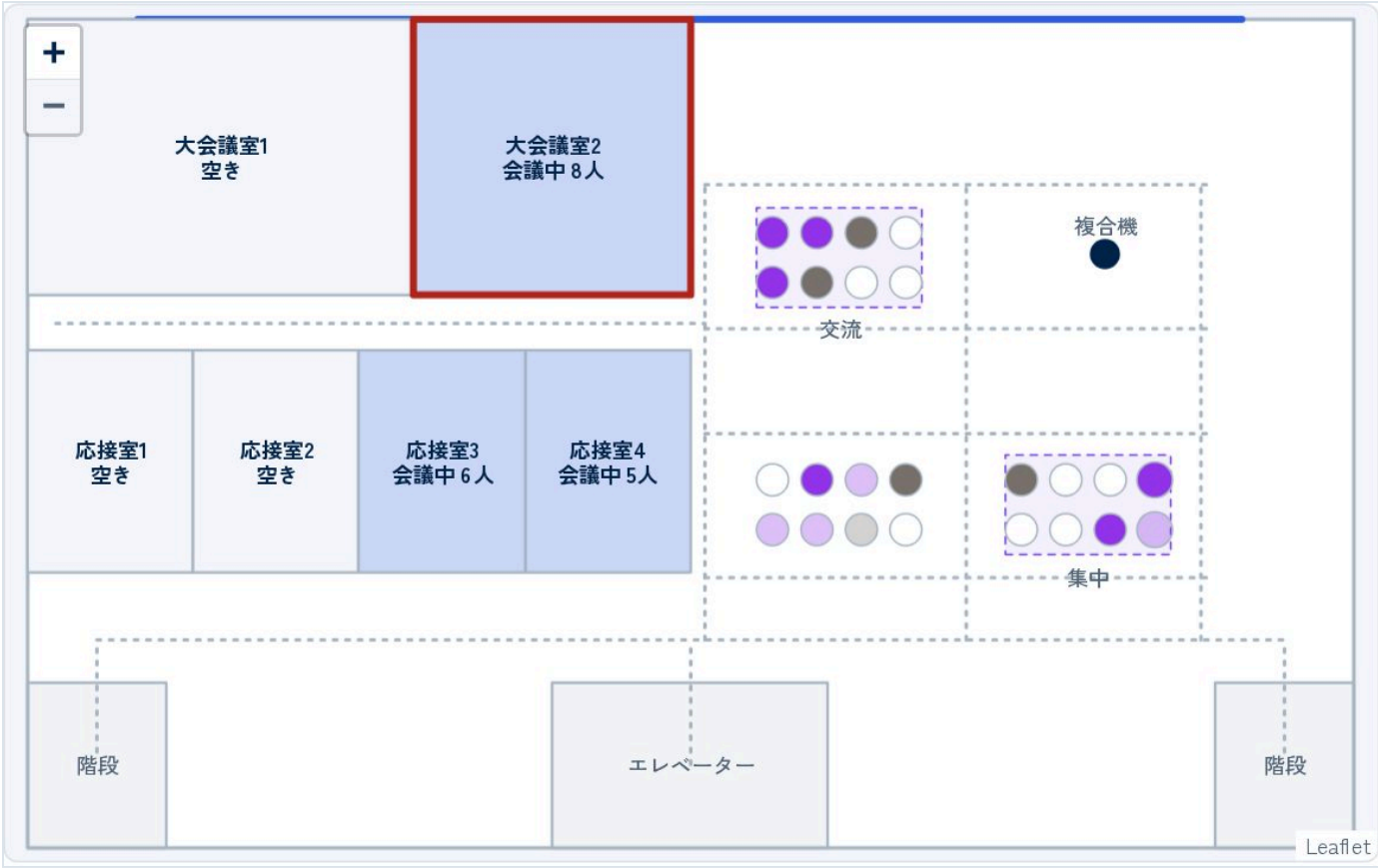
1 「1. 在席」で時刻と部門を選ぶ



その時刻に誰がどこにいるかを表示します。席は部門の色で塗り、会議中や不在の人は薄く表示します。上のボタンで8階から10階までを切り替えられます。

2 一覧で名前を押す


社員 12人(開発2部)
名前
席
いる場所
瀬川 圭
開発2部
8階 13番席
10階 大会議室2
高野 葵
開発2部
8階 14番席
8階 席
千葉 律
開発2部
8階 15番席
8階 席
土井 灯
開発2部
8階 16番席
8階 席
寺田 真
開発2部
8階 17番席
8階 席
富田 彩
開発2部
8階 18番席
8階 席
中西 颯
開発2部
8階 19番席
8階 席
西村 碧
開発2部
8階 20番席
8階 席
野口 司
開発2部
8階 21番席
在宅
橋本 歩
開発2部
8階 22番席
8階 席
平井 湊
8階 23番席
8階 席



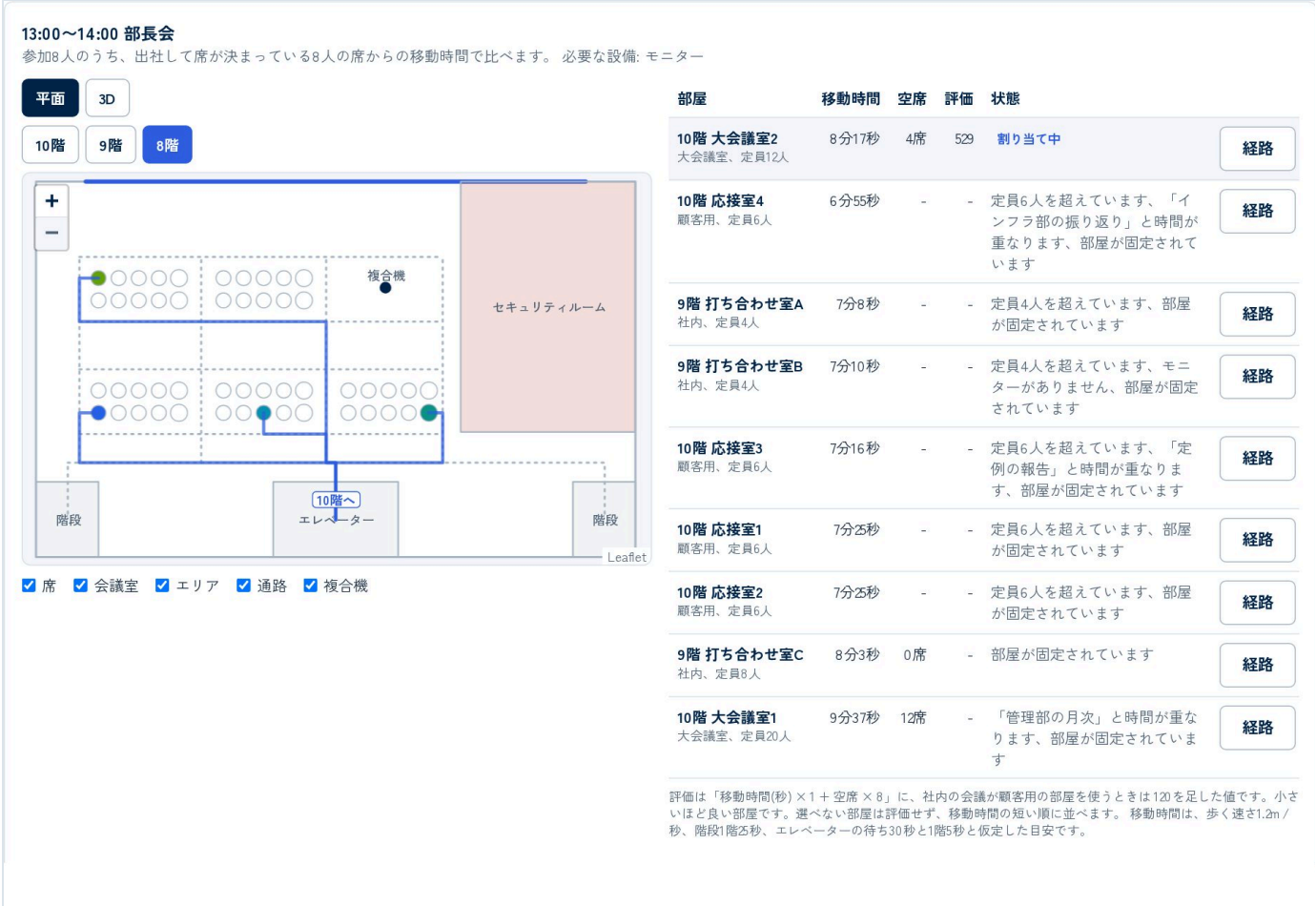
その人のいる階に切り替わり、席か会議室を赤い枠で示します。会議中の人は会議室、席にいる人は席に枠が付きます。

3 「2. 席予約」で条件を選んで空席を探し、「予約」を押す



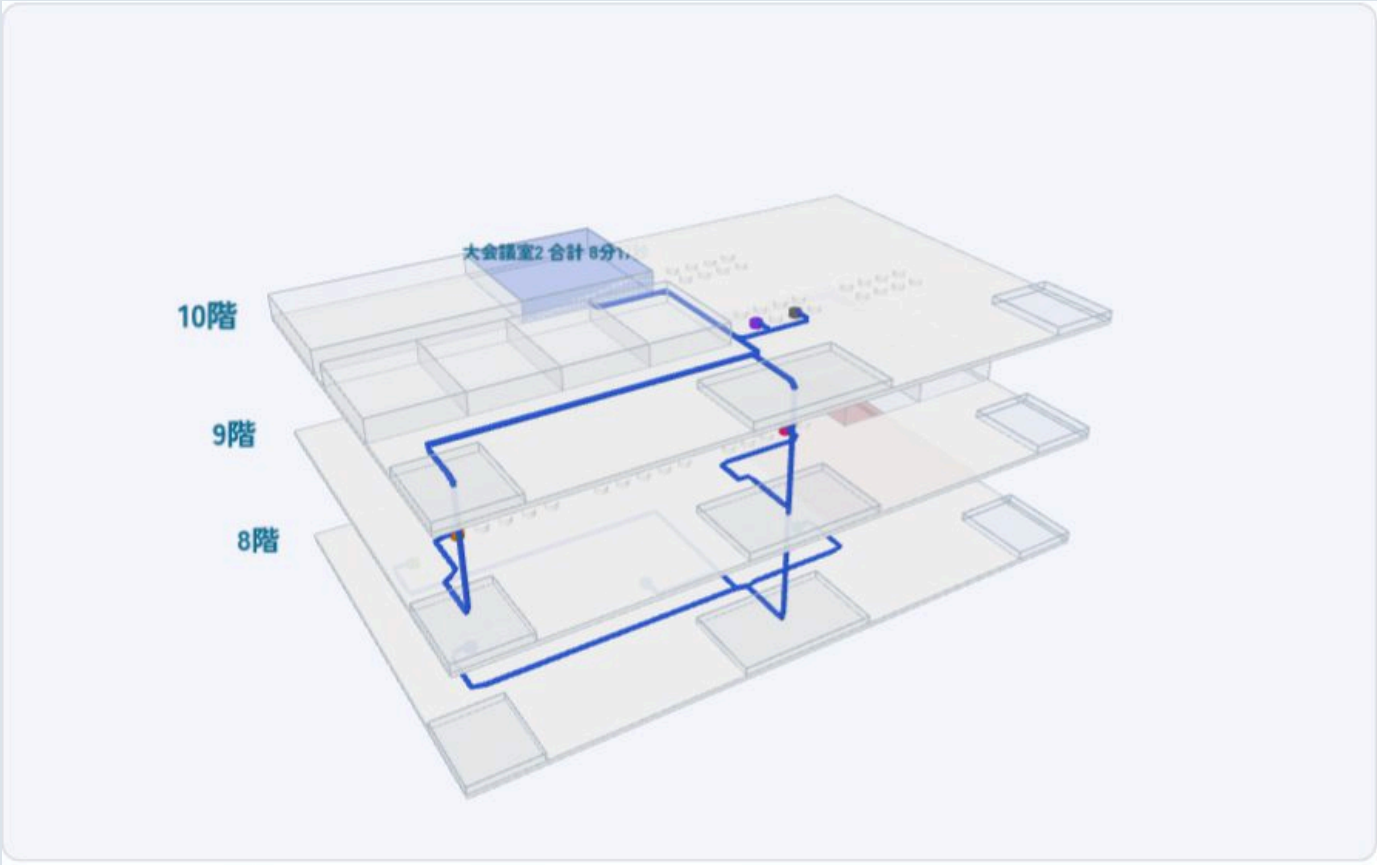
10階のフリーアドレスの席を予約します。候補は同じ部門の席に近い順に並びます。図の空席をクリックしても予約できます。

4 「3. 会議」で会議を選び、部屋の提案を見る



定員、設備、時間の重なりを満たす部屋を、評価の良い順に並べます。選べない部屋は評価せず、理由を示して後ろに並べます。「経路」を押すと、参加者の席から部屋までの経路を表示します。別の階へ移る位置には行き先を書きます。

5 図の上の「3D」を押す



> 全階を重ねた立体で表示し、階段やエレベーターを通る経路を縦の線で示します。ドラッグか2本指で回転、ボタンでも回せます。

6 未定の会議で、提案の部屋の「選ぶ」を押す



> 部屋が割り当てられ、「部屋が未定です」の注意が消えます。

7 「4. 割り当て」で「割り当てを見直す」を押す

見直しの結果

指標	現在	移動を優先	バランス	部屋の有効活用
合計の移動時間	117.5分	106.5分	106.2分	105.9分
空席の時間(席 × 時間)	72.5	69.5	47.5	38.5
部屋が大きすぎる会議	3件	3件	1件	1件
移動の負担	2人	1人	2人	2人
顧客用の部屋を使う社内会議	4件	1件	1件	2件
部屋が未定の会議	0件	0件	0件	0件
案の選択		この案にする	選択中	この案にする

移動時間と部屋の空きを両方見て選びます。

重み: 移動時間(1秒)1、空席 8、移動の負担 60、顧客用の部屋を使う社内会議 120

バランスの案で部屋が変わる会議 18件

9:30 企画部の1on1: 10階 大会議室1 → 9階 打ち合わせ室A
10:00 契約の相談: 9階 打ち合わせ室B → 10階 応接室3
11:00 導入の打ち合わせ: 10階 応接室1 → 10階 応接室2
11:00 企画会議: 9階 打ち合わせ室C → 10階 応接室1
13:00 インフラ部の振り返り: 10階 応接室4 → 9階 打ち合わせ室C
14:00 見積の説明: 10階 応接室1 → 10階 応接室4
14:30 開発2部の振り返り: 10階 大会議室2 → 9階 打ち合わせ室C
15:30 営業2部の会議: 10階 大会議室1 → 10階 大会議室2
16:00 契約の確認: 9階 打ち合わせ室A → 10階 応接室4
10:00 製品の説明: 10階 応接室1 → 10階 応接室4
10:00 開発2部の設計レビュー: 10階 応接室2 → 10階 大会議室2
11:00 開発3部の定例: 10階 大会議室1 → 9階 打ち合わせ室C
13:00 定例の報告: 10階 応接室3 → 10階 応接室4
14:00 開発1部の1on1: 9階 打ち合わせ室A → 9階 打ち合わせ室B
14:00 企画のレビュー: 9階 打ち合わせ室B → 9階 打ち合わせ室A
15:00 インフラの共有: 10階 応接室3 → 9階 打ち合わせ室A
16:00 開発3部の1on1: 10階 大会議室2 → 9階 打ち合わせ室B
16:30 管理部の1on1: 10階 応接室4 → 9階 打ち合わせ室A

この案で確定　取り消す

見直し後の部屋の使われ方



定員、設備、時間の重なり、固定を守ったまま、移動を優先、バランス、部屋の有効活用の3つの案を作ります。来客ありの会議を先に割り当て、顧客用の部屋は来客に譲られやすくなります。

8 「部屋の有効活用」の「この案にする」を押し、「この案で確定」を押す



見直しの結果

指標	現在	移動を優先	バランス	部屋の有効活用
合計の移動時間	117.5分	106.5分	106.2分	105.9分
空席の時間(席 × 時間)	72.5	69.5	47.5	38.5
部屋が大きすぎる会議	3件	3件	1件	1件
移動の負担	2人	1人	2人	2人
顧客用の部屋を使う社内会議	4件	1件	1件	2件
部屋が未定の会議	0件	0件	0件	0件
案の選択		この案にする	この案にする	選択中

少し移動しても、人数に合った大きさの部屋を選びます。
重み: 移動時間(1秒) 1、空席 5、移動の負担 60、顧客用の部屋を使う社内会議 120

部屋の有効活用の案で部屋が変わる会議 18件

9:30 企画部の1on1: 10階 大会議室1 → 9階 打ち合わせ室A
10:00 契約の相談: 9階 打ち合わせ室B → 10階 応接室2
11:00 導入の打ち合わせ: 10階 応接室1 → 10階 応接室2
11:00 企画会議: 9階 打ち合わせ室C → 10階 応接室1
13:00 インフラ部の振り返り: 10階 応接室4 → 9階 打ち合わせ室C
14:00 見積の説明: 10階 応接室1 → 10階 応接室4
14:30 開発2部の振り返り: 10階 大会議室2 → 9階 打ち合わせ室C
15:30 営業2部の会議: 10階 大会議室1 → 10階 大会議室2
16:00 契約の確認: 9階 打ち合わせ室A → 10階 応接室4
10:00 製品の説明: 10階 応接室1 → 10階 応接室3
10:00 開発2部の設計レビュー: 10階 応接室2 → 10階 応接室4
11:00 開発3部の定例: 10階 大会議室1 → 9階 打ち合わせ室C
13:00 定例の報告: 10階 応接室3 → 10階 応接室4
14:00 開発1部の1on1: 9階 打ち合わせ室A → 9階 打ち合わせ室B
14:00 企画のレビュー: 9階 打ち合わせ室B → 9階 打ち合わせ室A
15:00 インフラの共有: 10階 応接室3 → 9階 打ち合わせ室A
16:00 開発3部の1on1: 10階 大会議室2 → 9階 打ち合わせ室B
16:30 管理部の1on1: 10階 応接室4 → 9階 打ち合わせ室A

この案で確定　取り消す

案を切り替えると、部屋が変わる会議の一覧と部屋の使われ方が変わります。確定は人が判断します。動かしたくない会議は、先に固定できます。

9 「5. 分析」で主題図と移動の負担を見る



移動の負担 2人

休憩5分未満で、移動に1分以上かかる人です。

社員	移動	移動時間
青山 悠	大会議室2 → 打ち合わせ室B	1分7秒
北川 真	大会議室2 → 打ち合わせ室A	1分11秒

> 部屋の利用率と充足率を色の濃さで示します。休憩なしで離れた部屋へ移る人も確認できます。フロアのデータは GeoJSON で保存できます。

10 主題図で「到達圏」を選び、図の席や部屋を押して起点を変える

主題図

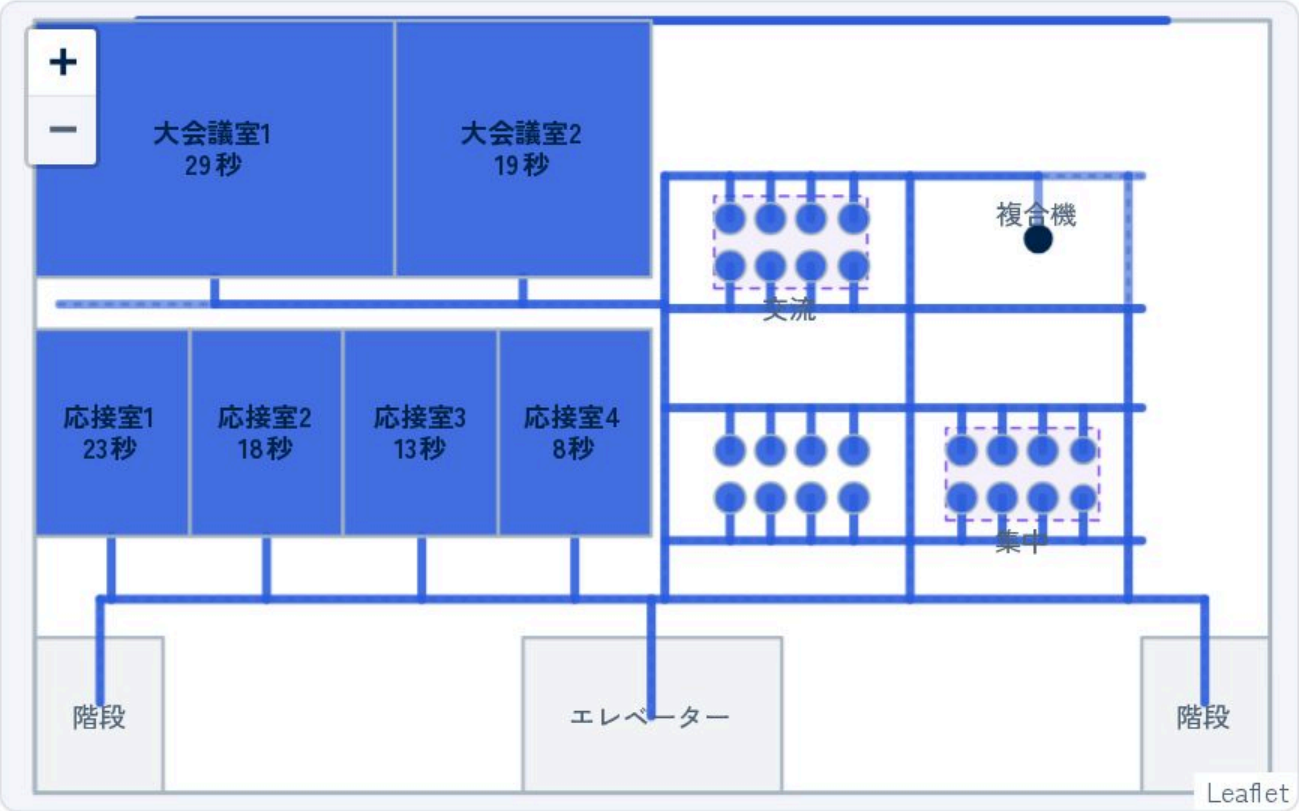
到達圏

起点

10階 受付

平面 3D

10階 9階 8階



席 会議室 エリア 通路 複合機

30秒以内 1分以内 1分30秒以内 1分30秒超

図の部屋や席を押すと、そこを起点にします。

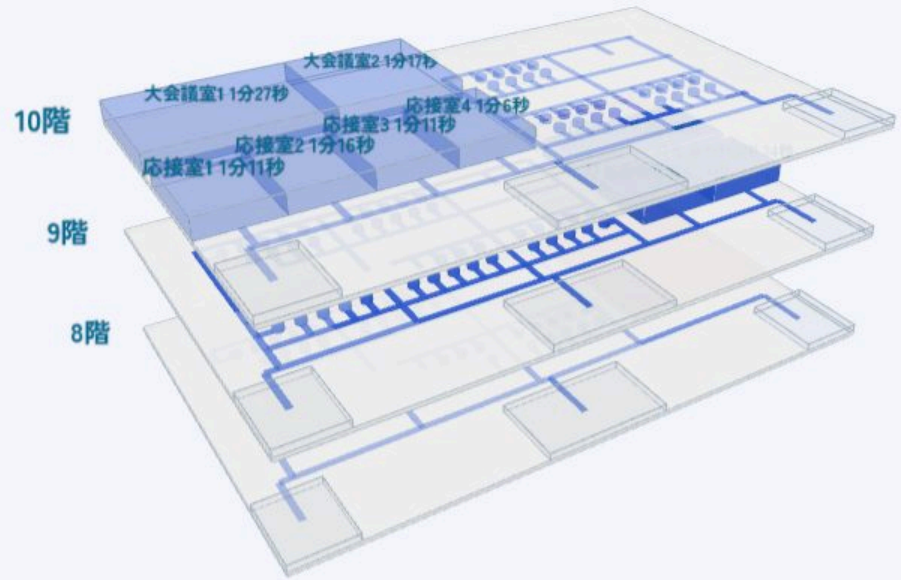
主題図

到達圏

起点

9階 打ち合わせ室C

平面 3D



左へ回す 右へ回す 元の向き

マウスのドラッグか2本指で回転、ホイールかピンチで拡大縮小できます。

到達圏の集計

起点: 9階 打ち合わせ室C

階	30秒以内	1分以内	1分30秒以内	1分30秒超
10階	席 0 部屋 0	席 0 部屋 0	席 24 部屋 6	席 0 部屋 0
9階	席 44 部屋 3	席 6 部屋 0	席 0 部屋 0	席 0 部屋 0
8階	席 0 部屋 0	席 0 部屋 0	席 50 部屋 0	席 0 部屋 0

起点から通路、階段、エレベーターを通る最も早い経路の移動時間で分けています。

> 起点から30秒以内、1分以内、1分30秒以内、それより長い範囲を、通路、席、部屋の色の濃さで示します。3Dにすると、階段やエレベーターで上下の階へ広がる様子が分かります。

用語

フリーアドレス 固定の席を持たず、その日に使う席を選ぶ働き方です。

移動時間 通路の長さを歩く速さで割り、階段とエレベーターの時間を足した目安です。最も早い経路で求めます。

評価 移動時間の合計 × 重み ＋ 空席数 × 重みに、社内の会議が顧客用の部屋を使うときの重みを足した値です。小さいほど良い部屋です。重みは表や案の下に表示します。

利用率 部屋の会議の時間の合計 ÷ 営業時間です。

充足率 参加人数 ÷ 定員を、会議の時間で平均した値です。

移動の負担 休憩5分未満で、移動に1分以上かかる人数です。

主題図 特定の情報を色などで示した地図です。

到達圏 起点から決まった時間の内に行ける範囲です。通路、階段、エレベーターを通る最も早い経路で求めます。

GeoJSON 位置や形のデータを表す標準の形式です。GIS のソフトで読み込めます。